

【瀬戸内町】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画(第2次提出分まで)～R2.12.18現在～

単位:千円

No.	事業名称	事業目的(簡略版)	総事業費(予定)	事業主管
1	飲食観光業等緊急支援金交付事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に係る活動自粛等に伴い売上減少等の経済的打撃を受けた事業所に対し給付し、支援することを目的とする。(対象事業所1あたり、100千円の支援金)	30,000	企画課
2	令和2年度瀬戸内町“ささえ愛”クーポン事業	新型コロナウイルスの影響による収入の減少等を余儀なくされている瀬戸内町民への生活支援と、景気対策のため、地元消費拡大、地域の経済活性化を図るため、瀬戸内町民全員を対象にクーポン券を発行する。	47,820	商工観光課
3	医療従事者等安全確保対策事業	医療機関・教育機関に対して、感染症対策用品の備蓄に係るものの購入に係る経費。	2,450	保健福祉課
4	医療従事者等確保対策事業	医療従事者への特殊勤務手当に係る経費。	13,878	保健福祉課
5	離島遠隔医療支援対策事業	与路地区、看護師住宅の整備に係る経費。	41,100	保健福祉課
6	学校のICT環境整備	指導者用パソコンを整備することにより、オンライン学習等への環境整備を図る。	10,200	教委総務課
7	奄美群島振興交付金 (海中清掃やコロナ退散花火大会等)	「コロナ拡大防止期」において本町のメインコンテンツである「海」を海中清掃等によるブラッシュアップを実施し、満足度向上を図るほか、海中清掃の取組やweb配信用イベントを開催し動画配信することで広く情報発信する。「収束期」において美しい自然資源を有効活用した「奄美満喫ツアー」を実施し、観光客の滞在促進に繋げる。	55,000	商工観光課
8	奄美群島振興交付金 (広域で実施する事業への負担金)	【奄美群島エコツアーリズム魅力体験事業】 認定エコツアーガイドと地域通訳案内士の連携によるスキルアップを図るとともに、オンラインツアーの実施、ガイドツアーに特化した動画の制作配信による観光客(インバウンド含む。)へのPR及びモニターツアーを実施することで、観光客の誘客、満足度向上及び滞在促進を図る。 【奄美群島滞在型観光促進事業】 あまみシマ博覧会の助成を行うことで滞在促進の流れを作る。さらに、ワーケーションを行うことで奄美群島に来島する観光客の増加を図り、滞在型観光促進につなげていく。	4,336	商工観光課
9	公立学校情報機器整備費補助金 (GIGAスクールサポーター配置支援事業)	【GIGAスクールサポーター配置支援事業】 ①学校における環境整備の初期対応を行う。	2,129	教委総務課
10	公立学校情報機器整備費補助金	(学校からの遠隔学習機能の強化事業) 臨時休業等、学校と児童生徒とのやり取りが円滑にできるよう、カメラ・マイク等を整備する。	360	教委総務課
11	学校臨時休業対策費補助金	臨時休校時において、発注をキャンセルせずに事業者から購入した食材に係る経費及びその処分に要した経費及び事業者に対して既に発注されていた食材にかかる違約金等。	5,355	教委総務課
12	子ども・子育て支援交付金	①新型コロナウイルス感染症対策対策臨時休業特別開所支援及び感染拡大防止に配慮した相談支援体制強化を目的とする。(人材確保支援、利用料減免)	600	町民生活課
13	GIGAスクール端末導入事業	国が定めるGIGAスクール構想に係る1人1台PCの実現へ向けた整備費。	23,029	教委総務課

No.	事業名称	事業目的(簡略版)	総事業費(予定)	事業主管
14	持続可能なちいきづくりに向けた戦略拠点形成事業	①コロナ禍における「新たな生活スタイル」への転換のため、戦略拠点としてサテライトオフィスを整備する。また、感染対策を講じる都市圏の企業等に対する新たな働き方への支援や、BCP対策への支援としてICTを活用したテレワークスペースを整備し、二拠点生活の促進を図る。更に、「ワーケーション」「町民の新たな働き方」の推奨のため、人材交流による官民連携強化で、瀬戸内町ならではの「自然文化・食」の付加価値を高める戦略を実行することにより、持続的に新しい人の流れをつくり、「町民が安心して暮らせる町」「自然環境の保全」「地域経済の好循環・活性化」の確立を図る。	60,000	企画課
15	ドローンを活用した物資輸送等実証実験事業	台風などでフェリーが欠航した際に加計呂麻島・請島・与路島(以下、「3島」という。)へ生活物資等を運ぶ手段がなくなってしまう。また、3島で生産された農林水産物を出荷する際、奄美大島へ輸送する費用がさらに加算されるため島内消費に留まっている。そこで、地理的不利性を是正し3島の地域経済を活性化させるために、新技術を導入し新たな生活スタイルを確立させるための実証実験を実施する。	32,000	企画課
16	防災活動支援事業	台風・大雨時には停電が長期化する。避難所における感染予防や感染拡大防止を徹底するため、避難所の衛生管理や避難者の健康観察等に必要となる非常用電源を確保する。併せて避難所での熱中症対策及び換気を目的に大型扇風機の整備を行う。	8,738	総務課
17	避難所における感染防止対策用物資・資材の備蓄支援事業	公共空間での感染機会を削減するための整備費。	937	総務課
18	畜産及び関連事業者経営安定対策事業(畜産経営安定対策)	需要減退及び販売価格が下落するなか、経営の安定化に資する取組として濃厚飼料の購入に係わる経費を実態に応じた助成を実施する。	13,806	農林課
19	持続可能な自然環境形成事業	「コロナ拡大防止期」におけるエコツアーガイド事業者等による国立公園及び観光地内等町内一円における外来植物の侵入状況の調査や防除、地域住民等への啓発活動を実施してもらうことで、自然環境・生態系の保全と魅力向上を図り、「収束期」において美しい自然資源を有効活用した自然体験型観光メニュー利用の満足度向上により観光客の誘客・滞在促進を目的とする。	12,551	図書館・郷土館
20	奄美シーカヤック大会応援事業	2020奄美シーカヤックマラソンIN加計呂麻大会の中止に伴う来年度の参加者の減が懸念される。広く宣伝を実施し、来年度の参加者が増えることで、町の活性化に資することを目的とする。	1,500	商工観光課
21	宿泊事業所活性化支援事業	普段は利用する可能性の低い地元(町内)宿泊施設への利用を斡旋(お試し)することで、群島民による宿泊産業への緊急経済支援と本町の魅力を再発見・再認識すること、及び実際に泊まって感じた宿の印象や地域の魅力を全国へ発信し、コロナ収束後における宿泊産業のV字回復を目的とする。	4,400	商工観光課
22	移動者・帰省者・医療関係者居場所づくり創出事業	海外や県外にいた家族などが地元へ帰省した際に、同居する家族や地域を守るため、一時的に宿泊施設等に滞在する場合には、本町がその施設等を借り上げて提供、または宿泊費等を助成し、宿泊産業の支援と帰省する家族等の居場所づくりを創出する。(医療者・医療従事者含む)	1,000	商工観光課
23	非デジタル対応情報提供事業(広域で実施するための負担金)	①感染症予防のための資料を配布し、感染及び感染拡大への予防を徹底する。 ②紙うちわデザイン広告料・新聞広告料に係る負担金を交付対象経費とする。	466	保健福祉課
24	公共的空間安全・安心確保事業(広域で実施するための負担金)	①水際対策としてサーモグラフィーによる検温を実施し、感染拡大防止を目的とする。 ②水際対策の委託料の負担金を交付対象経費とする。 (奄美空港・名瀬港での検温を実施する者)	1,470	保健福祉課
25	地域の感染状況を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業(施設整備費)	帰国者・接触者外来の設置及び発熱外来の開始や軽症者受け入れ等に伴う施設整備・医療従事者の安全確保対策	32,110	保健福祉課(へき地診療所)

No.	事業名称	事業目的(簡略版)	総事業費(予定)	事業主管
26	図書館サービスの充実	①感染症予防対策として、「読書環境の整備」を実施。また、在宅で過ごす時間を豊かなものにし、「新たな生活様式」に対応するため、蔵書を増やし、宅配(郵送)による貸出実施や貸出文庫等の充実を図ることを目的とする。	4,107	図書館・郷土館
27	飲食店応援!エコ素材PR事業	町内飲食店に、国産間伐材を利用した割り箸やバガストレー(容器)を提供し、感染症対策への支援を図るとともに、世界自然遺産登録を目指している奄美大島で、森林保護及び地球温暖化防止につながるエコ素材の利用推進を図り、「自然保護」の取り組みを町内外へPRする。 ※バガストレー・・・バガス(サトウキビの搾りカス)を原料としたパルプを溶かして型に入れ、すき上げて作る紙の食品容器。	1,500	図書館・郷土館
28	窓口申請支援システム整備事業 (申請書作成支援システム整備費)	新しい生活様式に対応できるよう窓口手続きのスマート化、デジタル化を推進し、住民の負担を軽減するとともにクラスター感染の防止等コロナ拡大を可能な限り抑えることを目的とする。	1,848	町民生活課
29	令和2年度瀬戸内町商工会プレミアム商品券事業	域内で消費喚起を目的に50%のプレミアム率で商品券を販売することにより、地元消費拡大、地域の経済活性化を図る。	30,751	商工観光課
30	瀬戸内町 ストグレースット～コロナに負けるな～	コロナの影響による長期間の来島自粛要請発令に際し、島外の方々のご協力で奄美での感染者は少人数で抑えることができ、また自粛要請解除となった現在も来島者の感染防止対策にて、感染者の増加は抑えられている。この感染防止対策に対する協力のお礼とこれからの更なる協力の依頼を行うことで、奄美大島(瀬戸内町)へのコロナウイルスの侵入を防ぎ、安心して来島していただく事で、感染防止、地域経済の活性化を図る。また、故郷への帰省を自粛し頑張っている学生を対象に本町の特産品をお届けする事によって、郷土愛を高め、将来地元の為に活躍する人材を創る。 【来島客、帰島客、本町出身学生(県外居住学生)】	5,000	農林課

【注意】

- ① 現況の実施計画ですので、今後、内容変更や事業の追加、廃止もあり得ますのでご理解をお願いいたします。
- ② 総事業費は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当する額とは異なります。
- ③ 国の臨時交付金ポータルサイト(地方創生図鑑)にて、全国の自治体における事業の確認ができます。
- ④ 本町の事業内容に関することについては、それぞれの事業主管へお問合せください。
- ⑤ 臨時交付金計画全体に関することについては、企画課企画振興係 中島までお問い合わせください。

【お問い合わせ】
 企画課 企画振興係 担当(中島)
 電話:0997-72-1112
 MAIL: shinkou@town.setouchi.lg.jp